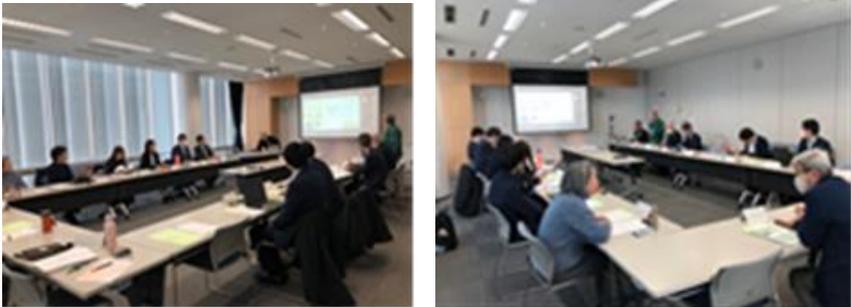


岩手県地球温暖化対策地域協議会情報・意見交換会

令和8年2月1日

岩手県センター地域協議会事務局

1. イベント名	令和7年度岩手県地球温暖化対策地域協議会 情報・意見交換会	
2. 開催概要	日時：令和8年1月30日(金) 13:30~16:30 場所：アイーナ8F 810会議室	
3. 内容	参加者	会場 15名 オンライン 20名 合計 35名 (岩手県2名・センタースタッフ4名含む)
	1. 内 容 1) 開会・挨拶 2) 情報提供 温暖化防止いわて県民会議若者ワーキンググループ報告 3) 岩手県 令和6年度の実績と令和7年度の取り組みについて 4) 釜石市地球温暖化対策地域協議会 「トライ！きみのエコ度チェック」と「地球温暖化を防ごう隊」の取り組み 5) 宮古市 エネルギー・環境部 環境課 先行地域の取組を進めるための市民向け普及啓発について 6) 大船渡市市民生活部市民環境課 省エネ家電への買い替え促進事業取り組みについて 7) いわてカーボンフリー・アクション (ICFA) 報告 8) 質疑応答 <p style="text-align: center;">休憩</p> 2 情報・意見交換会 3 閉会 【会場風景】	
		

4, 所感	<p>本日の情報意見交換会の参加者は、現状が危機的な「転換点」あるいは「瀬戸際」にあるという強い危機感を共有、今、行動を起こせば壊滅的な状況を抑制できる可能性があると認識した。</p> <p>自治体の取り組みは多様であり、特定のエリアで排出量ゼロを目指す宮古市の「ハード」なアプローチから、市民の意識向上に焦点を当てた広範な「ソフト」アプローチまで多岐にわたる。特に、自治体、市民団体、民間企業、教育機関といった多様なステークホルダー間の「連携」が、効果的な活動に不可欠な要素として繰り返し強調された。</p> <p>一方で、若者や一般市民の関心を惹きつけ、行動変容を促すことは依然として大きな課題である。宮古市の「脱炭素通信」のように専門用語を平易な言葉で解説する革新的な広報や、活動自体を「楽しい」ものとして企画することが、貢献意欲向上の鍵として示された。さらに、住宅の断熱性能向上や漁業への影響といった具体的な地域課題に焦点を当てることが、抽象的な気候変動問題を市民の生活に結びつけ、具体的な行動を喚起する上で極めて重要であると認識した。</p>
-------	--